

第 12 回副甲状腺機能亢進症に対する PT x 研究会 世話人役員会議事録

日時：2022 年 9 月 3 日（土） 8 時 20 分 ～ 9 時 00 分

場所：アジア太平洋インポートマート小倉（AIM 小倉）312・313 会議室

【参加者】

特別会員	岩元 則幸	（ 医療法人弘操会 馬淵診療所 ）
	富永 芳博	（ ノア今池クリニック ）
代表世話人	一森 敏弘	（ 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 ）
世話人	石井 保夫	（ 虎の門病院 ）
	小野寺 一彦	（ 札幌北榆病院 ）
	角田 隆俊	（ 東海大学医学部附属八王子病院 ）
	佐藤 伸也	（ 医療法人福甲会 やました甲状腺病院 ）
	新宅 究典	（ 土谷総合病院 ）
	長坂 隆治	（ 豊橋市民病院 ）
	中村 道郎	（ 東海大学医学部附属病院 ）
	日比 八束	（ 藤田医科大学 ）
	安永 親生	（ 済生会八幡総合病院 ）
監事	三上 洋	（ 済生会熊本病院 ）※代理出席
事務局	平光 高久	（ 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院 ）
スポンサー	駒場 大峰	（ 東海大学医学部附属病院 ）

（敬称略・五十音順）

【配布資料】

- ・会則および役員名簿
- ・会計報告書（2021 年度）
- ・症例登録用紙

1) 代表世話人挨拶

代表世話人 一森先生よりご挨拶いただいた。

2) 第 12 回学術集会について

- ・大会長 安永先生より、第 12 回学術集会の内容と当日のスケジュールについてご案内いただいた。

一般演題 13 題

イブニングセミナー

『副甲状腺機能亢進症治療の新しい視点と考え方』

風間 順一郎 先生（福島県立医科大学腎臓高血圧内科）

ランチョンセミナー

『二次性副甲状腺機能亢進症治療におけるエボカルセトの将来展望』

永野 伸郎 先生（医療法人社団日高会日高病院学術研究センター・
腎臓病治療センター/ 東京女子医科大学）

特別講演

『二次性副甲状腺機能亢進症に対する内科的治療の進歩』

秋澤 忠男 先生（昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門）

3) 第 13 回学術集会について

- ・第 13 回学術集会大会長の豊橋市民病院 長坂先生よりご案内いただいた。
2023 年 9 月 15 日（金）-16 日（土） 愛知県豊橋市で開催予定

4) 会則、役員について

- ・芳賀 泉先生（JCHO 仙台病院）世話人をご辞退
- ・橋本 哲也先生（桃仁会クリニック）世話人をご辞退
- ・関口 悟先生（JCHO 仙台病院）が世話人にご推薦され、承認された。
- ・会計 高木様ご辞退のため、事務局の平光先生が兼任されることを承認された。
- ・ご連絡が取れない門倉 義幸先生、沼野 正浩先生について世話人からご解任
させていただく。

5) 会計報告

- ・一森先生より 2021 年度の会計報告がされた。

6) 今後の運営について

- ・協力施設の減少が著しいが手術自体も減少しているため、このまま少数精鋭で続けていく。
- ・THPT の定義について議論された。
内分泌外科学会で副甲状腺に対するガイドラインを作成中である。
ガイドライン内で決まり次第、アナウンスしていただく。
- ・PHPT の症例登録について SHPT の症例登録用紙に PHPT を含めた。
- ・症例登録と共に予後調査も行っていたが、回答施設がほぼ無いため予後調査を終了する。

7) 第 14 回学術集会開催候補について検討

- ・第 14 回学術集会大会長に虎ノ門病院 石井 保夫先生に決定した。

8) その他

- ・前回の世話人会で PHPT 症例を加える事が決定したので PHPT 症例の多い施設より世話人に入っていたきたい。
- ・NCD のデータを利用したいが、担当学会ごとにデータの利用手続きが必要であり、現状では利用が難しい。
今まで通り当研究会でデータを収集行い、内分泌外科にも交渉する。
- ・内分泌外科学会などでも副甲状腺について統計調査を行っているのか、オーバーラップしている所などはどうするのか？など質疑応答があった。
→ 内分泌外科学会の一つの部門として副甲状腺が出来ればよいが、副甲状腺に特化された集会、統計調査をしているのは当研究会のみであり、研究会として存続していくことは必要である。また、言いたいことが話し合える研究会は貴重である。
- ・内分泌外科学会に関連研究会として認めていただければ、当研究会での発表者、参加者が増えるのではないかとの意見があった。
- ・症例統計のデータを利用して、別視点から統計をすることを提案された。